

覆馬場を建てる為の請願書

覆馬場が必要な、理由

- 冬季に於ける馬場の状態が非常に悪く、最近の温暖化の影響もあり、降った雪が日中に解けて朝方には凍る。この状態が、今年は12月から、2か月ほど続き、下手するとこれからもずっとこのような劣悪な馬場の状態が続く可能性は否めません。

馬場が半氷の状態ですと、肢元が滑らないように、馬はいつも緊張を強いられ、その緊張は筋や骨を支える筋肉の疲労へとつながり、それがおよそ3~4ヵ月も続くのですから、春になって試合の時期になり、本格的に運動が始まると、その冬の間の疲労した筋肉や、骨、肩などの酷使が一気に露呈して、故障する馬が続出するのです。固い地面での速歩、駈歩は筋や筋肉だけではなく、骨や、肩への負担も計り知れません。

※ ある意味、馬に対する虐待です。 覆馬場は必要 不可欠なのです。

※ 北海道が誇る、名門である北海道大学の馬術部がこのような劣悪な環境で未だに後輩たち、馬達にも多大な苦勞を強いているのは、驚きです。

札幌近郊の乗馬クラブのほとんどは覆馬場を持っています。

※ 北海道大学馬術部の名に懸けて どうぞ一番先に覆馬場の建設に着手するべきでしょう。

- どうか、お金と、心ある先輩達の皆様、馬を助けると思って、早急に覆馬場の建設をお願い致します。 馬の健康を保って、馬の能力を活かせる場所づくり、馬と人を輝かせる為の大事な場所の建設を、覆馬場の実現を心よりお願い申し上げます。

- ここ10数年、馬術部の皆様には大変にお世話になっております。

皆様、良い子達ばかりで真摯に良く働いてくださり、いつも感謝しております。

陰ながら、応援しているのですが、昔から馬の故障が多いと感じていました。

肢に問題のある馬を、フロンテアに寄贈して下さり、ひと冬過ぎしましたら問題の肢はすっかり良くなると、北大に戻して欲しいと頼まれ、戻りました。

1年後の冬を過ごした春にまた肢の調子が悪くなり、フロンテアに戻って来ました。

今は、お客様の自馬になり3年が経ちますが、毎日乗っていても、肢の状態にまったく問題はありません。 やはり、冬の間の固い地面での騎乗が、問題かと思えます。

この馬だけではなく、試合に勝ち権利をとっても、馬の肢の状態が悪く試合に出られるかわからない。と、不安そうに話す学生の顔を見ると、胸が痛み気の毒でなりませんでした。

- 北海道が誇る 北海道大学馬術部の偉大なる諸先輩の皆様、覆馬場の建設の為に どうかお力添えを、早急な実現に向けて、周りの皆様方々へのお声掛けと、心ばかりの寄付、されど多大な寄付をどうぞ、どうぞ 早急によろしくお願い致します。

2024 1 28

〒061-3441 石狩市厚田区栗富165-3
 フロンテア乗馬クラブ
代表 谷口 健一
TEL 0133-66-3858 FAX 0133-66-3591
登録番号: T7430002043815

文 谷口 真由美